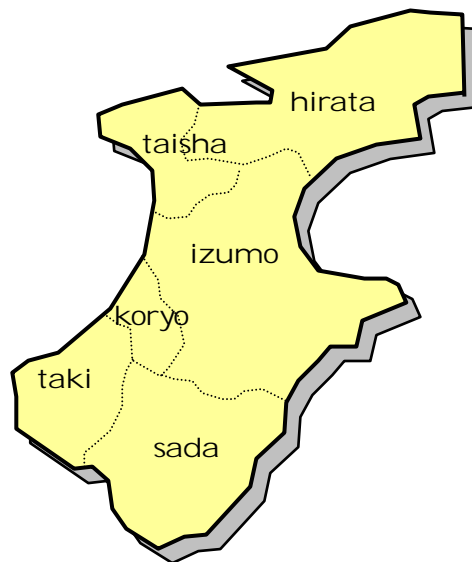


第12回 出雲地区合併協議会

会 議 録



日 時：平成17年2月1日(火)14時00分

場 所：出雲交流会館 2階多目的室

1 会議の名称等

会 議 名	第12出雲地区合併協議会					
開 催 日 時	平成17年2月1日(火) 14時00分~14時52分					
開 催 場 所	出雲交流会館(出雲市今市町北本町) 2階多目的室					
出 席 状 況	委員総数	34名	出席委員数	33名	会議の成否	成
会議録署名委員	古福 康雅委員(大社町)			福田 康伴委員(出雲市)		

2 会議の出席者

(1) 役員・委員等

役 員	会 長		副 会 長			
	西尾 理弘	長岡 秀人	荒木 孝	桑原 壽之	伊藤 裕	田中 和彦
所 属	議 長		議 員		学識経験者	
出雲市	三上 辰男		(欠席)		西田 郁郎	福田 康伴
平田市	常松 吉幸		日野 恵行		原田 清造	熊谷美和子
佐田町	渡部 勝		深井 徹郎		飯塚 勉	渡部 良治
多伎町	柳樂 和利		坂根 守		石飛 正	石飛工ミ子
湖陵町	立花 也		小村 宏行		柳樂 和夫	三原 伸治
大社町	佐貫 吉孝		古福 康雅		室家 隆一	木村 槇江
共通委員			萬代 宣雄 [いづも農業協同組合代表理事組合長] 江田 小鷹 [出雲商工会議所会頭] 大島 治 [平田商工会議所会頭] 今岡仁左恵 [佐田町商工会会長]			

欠席：寺田 昌弘委員(出雲市)

(2) 幹事会

所 属	助 役
出雲市	野津 邦男
平田市	加田 幹男
佐田町	田中 雄治
多伎町	石飛 友治
湖陵町	山根 貞守
大社町	藤原 博志

幹事長 副幹事長

(3) 各市町合併担当部課長

所 属	氏 名	職 名
出雲市	黒目 俊策	出雲市総務部長
"	児玉 進一	出雲市総務部次長
"	山田 俊司	出雲市合併推進課長
平田市	荒木 隆	平田市総務部長
"	松田 隆昭	平田市総務課長
佐田町	大谷 昌武	佐田町合併対策室長
"	佐貫 守	佐田町合併対策室課長補佐
多伎町	石飛 正登	多伎町理事
"	森脇 悦朗	多伎町総務課長

湖陵町	森山 均	湖陵町総務課長
大社町	影山 雅夫	大社町広域振興課長

(4) 事務局職員

役 職	氏 名	所 属	備 考
事務局長	妹尾 克彦	出雲市	総括
参 与	太田 均	島根県総務事務所	専門的助言・調整
事務局次長 (兼計画班長)	坂本 純夫	平田市	総務班・計画班(新市建設計画、財政計画関係) 担当
事務局次長	石田 武	大社町	調整1班・2班・3班担当
総務班	班長	三浦 俊明	庶務・広報、会議運営
	班員	長廻 修一	
計画班	班員	妹尾 淳也	新市建設計画・財政計画関係
	班員	松浦健一郎	
調整1班	班長	今岡 範夫	総務・企画、財政、議会、消防関係
	班員	林 辰昭	
調整2班	班長	山本 積	住民・福祉、教育・文化関係
	班員	原 康正	
調整3班	班長	糸賀 敬吉	産業、建設・上下水道関係
	班員	金築 教治	

(5) その他

所 属	氏 名
2市4町選挙管理委員会委員長会(座長)	来海 弘明(出雲市選挙管理委員会委員長)
総務分科会(分科会長)	後藤 政司(出雲市総務課長)
組織・人事分科会(分科会長)	梶谷 基雄(出雲市人事課長)
健康・医療分科会(分科会長)	金森 勝徳(出雲市健康増進課長)
出雲市外4町広域消防組合	大田 茂(消防長)
〃	板垣 祐治(消防次長)

3 議題

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名について
- 4 議事

(1) 報告事項

- 報告第33号 廃置分合に係る官報告示について
- 報告第34号 総務・企画小委員会報告について
- 報告第35号 合併準備状況について
- 報告第36号 出雲地区合併協議会の廃止について

(2) 議案事項

- 議案第77号 市章の選定について
- 議案第78号 平成16年度出雲地区合併協議会第1回補正予算について

- 5 その他
- 6 閉会

4 議事の要旨

別添資料及び次のとおり。

1 開会

[太田参与](司会・進行)

ただいまから第12回出雲地区合併協議会を開会いたします。

本日の会議はお手元に配布しております会議資料により進めさせていただきます。

本日の次第でございますが、会議資料の3ページに掲載しておりますので、こちらをご覧くださいませようお願いいたします。

それでは、ここで西尾会長がごあいさつ申し上げます。

2 会長あいさつ

[西尾会長]

みなさま方、この大雪の吹雪く中で誠にご苦労様でございます。昔は大体2月の節分の頃になるとこんなものでしたが、最近はや暖冬でびっくりするような状態でございます。私が小学校に通う頃はあかぎれになりました。この辺は大変な吹雪でした。あの頃を思い出した今日でございます。

いよいよそういう引き締まった気持ちで合併協議の最終段階を迎え、専ら事務的な詰め作業を2市4町の首長会議を中心にやっておりますが、この機会に、この正月以来少し進んだ事柄を、最終の詰めのところで確認のためにこの第12回合併協議会を開かせていただいたところでございます。どうか、いよいよまとめの時でございますのでよろしくお願い申し上げます。

[太田参与]

ありがとうございました。

それでは、ここからの会議の進行は、協議会規約の規定により西尾会長をお願いいたします。

3 会議録署名委員の指名について

[西尾議長]

まず、会議録署名委員につきまして、恒例によりまして私の方から順次指名させていただきたいと思っております。

会議資料4ページの表に載せておりますが、取り決めによりまして本日は、大社町議会議員の古福康雅委員と出雲市学識委員の福田康伴委員をお願いいたします。よろしく申し上げます。

それではただいまから議事に入らせていただきます。

4 議事

(1) 報告事項

報告第33号	廃置分合に係る官報告示について
報告第34号	総務・企画小委員会報告について
報告第35号	合併準備状況について
報告第36号	出雲地区合併協議会の廃止について

[西尾議長]

まず報告案件でございます。

報告第33号、廃置分合に係る官報告示につきまして、先般県から総務大臣に2市4町合併についての申請が出されまして、総務大臣においてこれを確認され、このたび官報で告示になったところでございます。事務局から報告願います。

[妹尾局長]

～報告第33号について説明～

[西尾議長]

これはご確認いただいたということによろしゅうございますね。

～了承～

では、報告第34号に移らせていただきます。総務・企画小委員会の報告につきまして、柳樂和夫委員長から報告をお願いします。

[柳樂和夫委員長]

～報告第34号について説明～

[西尾議長]

ありがとうございました。

3回にわたって鋭意、熱心にご協議、ご検討いただき誠にありがとうございました。小委員会委員のみなさま方のご尽力に改めて深く敬意を表し、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

今の柳樂委員長さんの報告につきましては、後ほど議案として審議に付し、最終的に新しい市の市章を決定する運びとなっているところでございます。報告されました事柄について何かご質問がございましたらお願いします。大体お分かりでしょうか。よろしゅうございますか。

～意見なし～

それでは、これは後ほど審議の議題として取り上げさせていただきたいと思います。

次に、報告第35号に移らせてさせていただきたいと思います。合併準備状況について報告するものでございます。まず、組織機構図について報告いたしたいと思います。事務局から報告願います。

[妹尾局長]

～報告第35号のうち「組織機構図(案)」について説明～

[西尾議長]

補足いたしますと、「資源リサイクル課」ということで「リサイクル」ということを全面に出したのは、エネルギーセンターで電気に変えることもサーマルリサイクルということで推奨されるところでございますし、リサイクル率で言いますと、現在出雲は約8割ぐらいリサイクルしている形になっております。8割リサイクルというのは全国でも完全にトップでございます。電気に変える方式を採っている所は新しい焼却炉の中でも少なく、現在フラワーパークで利用させていただいているというリサイクルのシステムがございます。それと、マテリアルリサイクルということで、いわゆるペットボトルから始めていますが、行く行くはプラスチック類もそういう形にしてはということも検討しなければならぬ課題だということで、リサイクル事業ということをももう少し進めなければならないという思いも込められているものでございます。

総合医療センターにつきましては、ただ今の事務局長報告に加えまして、やはり平田の病院を新・出雲市の病院に位置付けた時に、島根大学附属病院、県立中央病院と合わせて大きな病院が3つになるわけですが、市

立病院も加わるということで、そうなった時の役割分担として、やはり平田においては、診療科は本体として各診療科でがんばっていただきますが、その前段として予防医学、人間ドックとか検診とかに十分力を入れていただきたいということがあります。それと、病気の回復過程における受け皿としてのリハビリ機能も期待したいということです。病気そのものと病気の前後を総合的に面倒を見るセンターである、安心・安全の医療センターであるというような思いも込めてこういう形のを提唱したところでございます。追って病院関係のみなさま方で役割分担について詰めていただくような検討会も催したいと思っておりますが、そういうことも予定されているということもご念頭に置かれまして、この名称変えについてご理解いただきたいということでございます。

この組織機構図について、見ていただいてお気づきのことがございましたら、この機会にお願いしたいと思います。

～意見なし～

平田、佐田、多伎、湖陵、大社の支所の機構図も載せております。平田が8課、大社が6課、佐田・多伎・湖陵がそれぞれ5課という体制ということで組んでいるところでございます。

よろしゅうございましょうか。

～了承～

ありがとうございます。それでは次に移らせていただきたいと思っております。何かあれば、後ほど最後をお願いしたいと思います。

次は、一部事務組合の事務の取扱いに係る斐川町との協議結果について報告いたします。この半年をかけて色々と事務的詰めてきたものにつきまして、昨日の市長・町長会に斐川町長に来ていただいて最終的に確認したところでございます。それでは、その結果について事務局から報告願います。

[妹尾局長]

～報告第35号のうち「一部事務組合の事務の取扱いに係る斐川町との協議結果」について説明～

[西尾議長]

ありがとうございました。

ただ今の報告に少し補足いたします。大体どれぐらいの財政分担になるのかということがございます。17年度の見込みというのはまだはっきり分かりませんが、未定ではあるけれどもあえて試みるならば、16年度決算との対比で言いますと、ごみ・し尿・消防の3つの事業で16年度決算見込みが、2市5町でございますが、16億7千万ぐらいです。これが新市になりますと事業費総額が少し膨らみまして23億円ぐらいになるということがございます。斐川町の場合もそれに合わせて、3億1千万円台の負担が3億5、6千万円台の負担となります。粗々の概要のところだけ報告しておきます。

それから、新聞でも色々と言われておりまして、この際私の方から少し説明させていただきたい案件がございます。消防の単位の問題です。市町村合併に伴う消防本部の広域再編の場合、従来の広域の範囲よりも小さくならないようにしてほしいという消防庁から全国の各都道府県に出した一般通則がございます。これは通知でございます。平成15年10月30日付けの通知です。これはあくまで一般の考え方を述べたものでございまして、その考え方によりますと、市町村合併後における消防の事業体の範囲としては、管轄人口が概ね10万人以上を基本に考えておいて欲しいとか、出来る限り一部事務組合又は事務の委託等の広域行政制度を活用した広域的な消防本部を設けることが適当と考えられる、というような通則が出ております。このような考え方により難しい場合は別途報告しておいて欲しいということでございます。その「より難しい」例が我が出雲圏の、2市5町から2市4町になったケースでございます。

このことについては消防庁と鳥根県の総務部長との間でやり取りがございまして、委託事務はいいけれど、3年で収束するということについては懸念があるというような話がございます。ただ、この「3年」については、この合併協議会でも熟慮され、みなさま方の総意をもって決定したことであり、世論の動きとしては、斐川町においても、消防は単独でも出来るという世論も一部にあったわけでございます。出来れば生命・財産を

自ら守るといふ立ち上がりは、基礎的自治体としての考え方ではないのかというようなことから、そういう期待をされる世論もございまして、3年と言わずとももっと早くてもいいのではないかという議論もいただいた結果、執行部の提案で、ぎりぎり3年という案をお認めいただいたということでございます。

我々としては、あくまでも都道府県、市町村と国との関係は、地方自治の大変動期において、一般原則として縦の関係から横の関係になったということです。市町村、県、国はそれぞれ役割分担する、横で考える時代であって、上命下服、明治憲法以来の太政官布告によるような、通知を法律のごとく強制し、国が地方に命令するかのときことだけではなかなか難しかろうと思います。地方分権というのは、やはりそれぞれの地域のみなさま方がその間の事情を、デリケートなことを含めて全て一番良く存じておられるということで、そういう地方分権の本旨を活かすという意味でも、この際、市町村合併の当事者の意向、考え方というものも当然尊重されるべきであると思います。国の旧来型の伝達方式だけで事が進むということはいかなるものかということが、我々の反論として1点ございます。もう1つは、合併主管官庁なのです、消防庁も総務省の一部でございます。合併主管官庁としてはそんな3年先のことを心配するよりも、まずもってこの問題が解消できるように、合併主管官庁としてやるべきことがあるのではないかとすることがあります。この2つを中心に述べまして、現在我々はこういう立場で行くということを明確にしているところでございます。そういうことについてこの際ご理解いただき、また、みなさま方の共通理解をいただきたいということでございます。

一部の報道で1つだけ気になったことがございまして、中国新聞の報道で「連携協力は時代錯誤」という見出しがありまして、これはおかしいことです。上命下服が時代錯誤だと言っているわけで、他紙はいいのですが、この新聞だけは「連携協力は時代錯誤」と小見出しに書かれており、読んだ瞬間におかしなことが書いてあると思えました。連携協力が時代錯誤ではないのです。連携協力はやっていくわけで、上から下にもものを申すような姿勢が時代錯誤であり、よくよく地域のそれぞれの事情を理解して適切な指導をお願いするということが新しい行政のスタイルではないかという意味で申し上げている次第でございます。このことはみなさまよろしくご理解いただきたいと思えます。以上、この問題についての私のコメントとさせていただきます。

以上申し上げましたところで、何かコメントなりご意見がございましたらよろしくお願い申し上げます。

～意見なし～

大体ご理解いただいたということで、この件についてはよろしゅうございましょうか。こういう形のセットとなりましたので、よろしくお願いいたします。

～了承～

ありがとうございました。それでは次に移らせていただきたいと思えます。

次は、設置選挙が段々近づいて来るわけでございますが、この設置選挙に係る検討状況について、現在の2市4町の選挙管理委員会で暫定的に色々とお話し合いをさせていただいているところでございます。この状況について事務局から報告願います。

[妹尾局長]

～報告第35号のうち「設置選挙に係る検討状況」について説明～

[西尾議長]

選挙期日が一番の問題だったわけですが、現在の予定として「4月10日告示、4月17日投票」ということで、これは、合併直後の3月22日に開かれる暫定選挙管理委員会で確認していただくことになろうかと思えますが、そういう段取りで進むということを中心に、報告したような状況でございます。

よろしゅうございましょうか。

～了承～

ありがとうございます。

それでは、次の報告第36号に入りますが、本出雲地区合併協議会はいよいよ収束に向かっております。こ

の協議会の廃止について事務局から報告いたします。

[坂本次長]

～報告第36号について説明～

[西尾議長]

どうもありがとうございました。

突然「3月16日」ということが出ましたが、合併協議会も本日の第12回で相当なことをやりますが、更に若干の報告事項、確認事項が残るやに思いますので、3月16日に短時間でございますが、最終の第13回出雲地区合併協議会を開催させていただきまして、その後3月21日に本協議会の廃止という段取りで取り運んでどうかということでございます。よろしゅうございましょうか。

～了承～

ありがとうございます。

それでは、ただ今から議案の審議に入らせていただきたいと思います。

(2) 議案事項

議案第77号 市章の選定について

議案第78号 平成16年度出雲地区合併協議会第1回補正予算について

[西尾議長]

議案第77号でございます。

市章の選定について先ほど柳樂委員長から報告がありましたが、この議案第77号については、これをお諮りするにあたりまして、27ページをご覧くださいと思います。

新・出雲市の市章デザインは、先ほど委員長報告にありましたように、総務・企画小委員会の総意でご選定いただきましたこのデザインにするということでございます。この市章デザインの製作趣旨は、「出雲市の出を図案化。大空にはばたく鳥をイメージ。」ということで、たまたま酉年でございますが、そして「飛躍発展する新・出雲市を表す。」ということです。「出」という文字を、シンプルで力強く親しみやすい形としてまとめている。」という審査評でございます。審査にあたっては、この作品はどなたが出されたのかは伏せて審査されております。

ただ今5つの作品が出ていましたが、5つのうち4つは県外の方から出されたもので、たまたまこれは・・・報告してください。

[妹尾局長]

2市4町内の方でございます。

[出雲市長]

この案に決まったという小委員会委員長の報告でございますけれども、ご賛成の方は挙手をお願いします。

～挙手全員～

全員ご賛同でございます。それでは発表してください。

[妹尾局長]

作者のお名前を申し上げます。簸川郡多伎町の川上泰雄さんでございます。

[出雲市長]

ということでございます。どうもありがとうございました。議案第 77 号の市章の選定につきましては、全会一致で原案どおり決定したところでございます。

ここで、市章公募の際にお約束しておりました表彰につきましても確認させていただきたいと思っております。市章に決定となったデザインが最優秀賞に、資料の 14、15 ページをご覧いただきたいのですが、小委員会で選定いただきました優秀作品案の 4 点を優秀賞として認定したいと思っております。よろしゅうございましょうか。

～了承～

ありがとうございます。

それでは、優秀賞のみなさまのお名前を、住所も含めて発表したいと思っております。

[妹尾局長]

優秀賞は 4 作品ございますが、まず、受付番号「247 番」の方は、沖縄県那覇市の渡嘉敷徳男さんでございます。「256 番」は、新潟県上越市の金津 博さんでございます。「353 番」は、兵庫県丹波市の安達 司さんでございます。「481 番」は、広島県廿日市市の堀江 豊さんでございます。

[西尾議長]

この方々の表彰はどうするのですか。

[妹尾局長]

最優秀賞の方を次回の法定協議会で表彰させていただきたいと思っております。

[西尾議長]

3 月 16 日の法定協議会で表彰させていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

それでは、議案第 78 号 平成 16 年度出雲地区合併協議会第 1 回補正予算についてお諮りいたします。事務局から説明をお願いします。

[三浦班長]

～議案第 78 号について説明～

[西尾議長]

今の説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたらどうぞ。

～意見なし～

～了承～

ありがとうございます。よろしくご理解いただきたいと思います。

5 その他

[西尾議長]

以上で今日報告すべきこと、お諮りすべきことは一応終わったところでございます。この際何かご発言がございましょうか。

～意見なし～

それでは事務局から報告願います。

[妹尾局長]

先ほどもご案内いたしました、今後の予定でございます。

第13回の協議会は、3月16日の水曜日、15時から16時、平田市立文化館プラタナスホールで行いたいと思います。その後、割烹温泉ゆらりの方に移動していただきまして、17時から解散会を行いたいと思っておりますので、その点もよろしくお願いいたします。

それから、本日の会議が終わりましたから記念撮影を行いたいと思います。小委員会ごとにお撮りしますのでお願いいたします。

7 閉会

[太田参与]

以上をもちまして第12回出雲地区合併協議会を閉会いたします。

閉会にあたり、西尾会長がごあいさつ申し上げます。

[西尾会長]

どうもありがとうございました。

今日は質疑というよりも確認事項が多かったわけですが、お蔭様で合併協議もこの段階に来た時に、共に感慨ひとしおなものがございます。この2市4町の合併こそは、最も魅力的な、発展可能性の高い立派な合併の姿であったと言われるように、今後とも共々にがんばって参りたいと思います。まだ最終日ではございませんが、本当にありがとうございました。

以上